

藤沢市民交響楽団創立50周年記念

G・マーラー 交響曲第8番

千人の交響曲

Gustav Mahler : Symphonie Nr. 8 Symphonie der Tausend

2009年11月14日(土)

藤沢市民会館 大ホール

- 主催 財団法人藤沢市芸術文化振興財団
- 共催 藤沢市民交響楽団・藤沢市合唱連盟
- 後援 藤沢市・藤沢市教育委員会



The Fujisawa symphony orchestra is the 50th anniversary of establishment.

ごあいさつ

藤沢市民交響楽団 団長 太田修二

芸術の秋。本日は藤沢市民交響楽団創立50周年記念演奏会にご来場いただきまして、誠に有難うございます。このように創立50周年を迎えることが出来ましたことは、今までご支援下さいました多くの市民の皆様のお蔭と、団員一同心より感謝申し上げます。

この記念演奏会の指揮者には現田茂夫氏をお迎え致しました。2004年のマーラーの交響曲第2番「復活」、第100回記念演奏会のホルストの「惑星」に続き、3度目の指揮となります。また合唱には、藤沢市民オペラ等で大活躍の藤沢市合唱連盟の皆様にご出演いただいております。

さて、当団は1959年に湘南高校吹奏楽部OBを中心として創立されましたが、今ここに「千人の交響曲」を演奏できますことを、いったい誰が想像できたでしょう。現在は空前のアマチュア・オーケストラのブームで、県内にも数多くの団体が存在しますが、50年の歴史をもつ団体は五指に足りません。当団の50年の歩みは「歴代団長座談会」に譲りますが、この「千人の交響曲」は1979年2月12日、故山田一雄氏の指揮による藤沢市民会館での演奏が、東京と大阪について日本で3番目の演奏会であり、本日はそれから30年経っての再演となります。交響曲といってもこの曲には、100人を超えるオーケストラと8人の独唱者、二つの混声合唱団と一つの児童合唱団が必要で、総勢千人もの大編成となるわけです。この壮大な「千人の交響曲」が実現できたのも、文化都市藤沢だからこそだと思います。

最後に、本日の演奏会開催のためにご尽力いただきました(財)藤沢市芸術文化振興財団、その他関係各位に厚く御礼申し上げます。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

Program

G・マーラー 交響曲第8番 変ホ長調「千人の交響曲」

Gustav Mahler : Symphonie No.8 in E flat major "Symphonie der Tausend"

第1部 賛歌「現れたまえ、創造の主、聖霊よ」

I. Teil Hymnus: Veni, Creator Spiritus

第2部 ゲーテ「ファウスト」より最終場面

II. Teil Schlußszene aus "Faust"

指揮	現田 茂夫	独唱	
合唱指揮	浅野 深雪	第1ソプラノ(罪深き女)	菅 英三子
副指揮	上野 正博・富平 恭平	第2ソプラノ(罪を悔ゆる女)	山本 香代
児童合唱指導	藤原 規生	第3ソプラノ(栄光の聖母)	半田美和子
オーケストラ指導	楨野 伸也	第1アルト(サマリアの女)	栗林 朋子
		第2アルト(エジプトのマリア)	牧野真由美
管弦楽	藤沢市民交響楽団	テノール(マリア崇拜の博士)	福井 敬
合唱	藤沢市合唱連盟 藤沢市合唱連盟ジュニア団体	バリトン(法悦の教父)	久保 和範
		バス(瞑想の教父)	久保田真澄

合唱団名
アマポーラ
合唱団「玲」
コール・クレール
湘南コール・グリューン
湘南市民コール
湘南モーツァルト室内合唱団
女声合唱団 湘南の風

アンサンブル藤沢
鶴沼混声“波”
コール さざんか
湘南コーロ・ステラ
湘南男声合唱団
女声合唱団 藍の会
藤沢男声合唱団

かなぶす
鶴沼コーラス
コロ・アドヴァンテージ
湘南混声合唱団
湘南フリーデンスコーア
女声合唱団 コール・ロビン

鶴沼ジュニア・コール
藤沢市立第一中学校合唱部

藤沢ジュニア・コーラス

藤沢市立滝の沢中学校合唱部

Program note

G・マーラー 交響曲第8番 変ホ長調「千人の交響曲」

プロローグ

「私は、今しがた8番を完成させたところです。それは、私が今まで書いた最大の作品であるばかりでなく、内容、形式ともに類のないものなので、言葉では言い表せません。宇宙が、震え、鳴り響くさまを想像して下さい。それはもはや人間の声ではなく、運行する惑星や太陽のそれなのです…。」

1906年夏、グスタフ・マーラー(1860~1911)は、交響曲第8番のスケッチを書き上げたとき、友人の指揮者に宛ててこう書いた。そして翌年の夏、一気にオーケストレーションした。巨大な交響曲(千人の交響曲)の誕生である。

1910年ミュンヘンで、「ミュンヘン博覧会1910」という4か月にわたる大規模な音楽祭が開かれた。マーラーの第8番は、そのメインイベントとして据えられた。準備期間は、約1年間、練習は各地で分散して行われ、間近の1週間を総練習に当て、様々な組み合わせで1日2回実施したという。3,000枚用意された2日分の演奏会のチケットは、2週間前に売り切れた。そして指揮者1名、管弦楽171名、独唱者8名、混声合唱250名2組、児童合唱350名の千人を超える演奏者が舞台に登った。興行主が、宣伝用ポスターに、「千人の…」と掲げて以来、このインパクトのある俗称がついた(実際には、演奏者数の指定はない)。9月12日、マーラー自身の指揮で初演され、演奏後は、喝采が30分間続いたという。大成功だった。

マーラーの生い立ち

グスタフ・マーラーは、1860年7月7日ボヘミア(現チェコ共和国西部)のカリシュト村で、酒造業を営むユダヤ人の父と母の間に生まれた。14人兄弟の2番目だったが、7人は、幼くして亡くなった。いさかしの絶えない父と母、ユダヤ人に対する人種的偏見などから、不安な子供時代を過ごしたグスタフだったが、幼いうちから音楽的な才能を発揮し、父はその才能を伸ばそうと、音楽環境を与えることに熱心だった。10歳で、ピアニストとしてデビュー、15歳でウィーンに渡りウィーン音楽院に入学、1878年にピアノ演奏だけでなく作曲でも賞を得て卒業する。

指揮者としてデビューしたのは1880年。その後ブラハ、プタベストなど各地の劇場の指揮者を歴任し、一方で作曲にも力を入れ、数々の歌曲、交響曲を生み出していった。1897年、彼は、カリックに改宗して、長年の夢だったウィーン宮廷歌劇場の総監督に就任する。安定した劇場運営のおかげで、演奏活動を続けながら、休日やシーズンオフは別荘で作曲をするという彼特有の音楽生活が続いた。1902年、当時のウィーン社交界の華、23歳のアルマと結婚し、2人の女の子を授かる。しかし、その後不幸が続く。1907年、長女が5歳で亡くなり、マーラー自身も心臓病と診断される。また、芸術上の冒険をあまり好まないウィーン気質との確執から宮廷歌劇場の仕事を辞職した。1908年、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場の指揮者となり、晩年の夏はヨーロッパで作曲、冬はニューヨークで指揮者として活躍した。

マーラーの交響曲

マーラーは、生涯で、13曲の交響曲を作曲している。20代前半で書いた2曲は、後に自ら破棄したため残っていないが、未完に終わった第10番と、「大地の歌」の11曲が現在残されている。ほとんどが、1曲1時間を超える長大なサイズで、モーツァルトやベートーヴェンの時代のそれに比べ、3~5管編成という大編成である。さらに、普通はオーケストラに使わない楽器や誕生したばかりの楽器も積極的に登場する。特に打楽器は目覚ましく、例えば、旋律を演奏させるべくティンパニを増やしたり、木琴、鉄琴などの旋律打楽器、具体音としてカウベルやむちも活躍する。また、ベートーヴェンが交響曲第9番ではじめた、声楽の導入もマーラーの交響曲の特徴(10曲中5曲)である。そして、舞台外に楽器を配置して音の遠近法、左右の掛け合いを効果的に使う演奏法も駆使した。

各曲は、生と死、昼と夜、夢と現実など様々なテーマで書かれており、「自然」「子供」「東洋」「軍隊」といった要素が織り交ぜられている。そして、自ら「偉大な歓喜と栄光をたたえるもの」と語った《千人の交響曲》は、マーラーの交響曲の集大成と言える作品なのである。

《千人の交響曲》について

第1部:賛歌「現れたまえ、創造の主、聖霊よ」

オルガンの轟然たる和音の響きに2組の混声合唱がはじけるように歌いだす。神への賛歌の始まりである。ホルンを中心とする器楽だけの演奏をきっかけに展開部に入り独唱と合唱、独奏と合奏といった対比を生かして曲は進んでいき、愛と平和を願い、全宇宙を支配する偉大な創造主をたたえるフィナーレへと突入していく。

第2部:ゲテ「ファウスト」より最終場面

文豪ゲテの詩劇「ファウスト」終幕の「隠者たち」から最後の「神秘的合唱」までのテキストをほとんどそのままに使っている。ラテン語の神聖な第1部に対し、生きた人間世界を描いた第2部はドイツ語である。

曲は、隠者たちの住む暗い渓谷を表す器楽のみの序奏部で始まる。歌劇の登場人物のように役割を与えられた独唱者が、前半は男声中心に、後半は女声中心に、物語を進めていく。天使の声である児童合唱も加わり、あらゆる人間の罪と救済を訴え、ファウストが天上のグレートヒェンに救われる様、「永遠なる女性は、われらを導き昇られる」という言葉とともに感動的なクライマックスを形作る。

エピローグ

初演は、熱狂的な大反響を呼び起した。自分の作曲した作品がこれほど受け入れられたのは、マーラーにとって最初で最後だった。そのわずか8ヶ月後の1911年5月18日、体調を崩してニューヨークからようやくウィーンに戻ったマーラーは、連鎖球菌による血液中毒によって51歳の生涯を閉じた。

曲目解説 久保田恵



CK.Miura

現田 茂夫 (指揮) *Gonda Shigeo [Conductor]*

東京生まれ。東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京芸術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。86年、二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」でオペラ・デビュー後、「こうもり」等、二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積み、87年、新星日本交響楽団指揮者に就任。88年、来日中のドレスデン・フィルに客演したのをはじめとして、国内外を問わず主要オーケストラを指揮し、好評を得ている。90年、新星日響とヨーロッパ演奏旅行。同年、ウィーン国立歌劇場に国費留学。91年スロヴァキア・フィルに客演。92年、プラハ国立歌劇場日本公演の指揮者として客演。同年、プラハ交響楽団の定期公演に初登場し、翌年、「プラハの春」での「佐藤しのぶリサイタル」は、センセーショナルにヨーロッパで放送された。チェコを始めとして、イタリア、ドイツ等での客演も多い。96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年4月より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し好評を得ている。また、世界的チェリスト故ムスティスラフ・ロストロポーヴィチと03年12月及び04年10月皇后陛下の古希祝賀コンサートで共演し好評を博した。

オペラ指揮者としても経験豊かで、関西二期会で94年「ラインの黄金」、97年「ワルキューレ」、98年「ナクソス島のアリアドネ」、02年「天守物語」、08年「セビリアの理髪師」、東京二期会で95年「チャルダッシュの女王」、96年「フィガロの結婚」、「魔笛」、文化庁オペラ研究所で96年「ドン・ジョヴァンニ」、「佐藤しのぶドラマチックリサイタル」(全国ツアー)、2001年夏には「夕鶴」のタジキスタン/ウズベキスタン/東京公演、04年秋にはプラチスラヴァでスロヴァキア国立歌劇場の「椿姫」を指揮し、さらに10月同日本公演でも好評を博した。02年から錦織健プロデュースオペラの音楽監督も努め、「コシ・ファン・トゥッテ」、「04年「セビリアの理髪師」、06年「ドン・ジョヴァンニ」、09年「愛の妙薬」全国公演。05、08年には栗山民也演出「夕鶴」の全国公演を行っている。また、アントニオ・ベドロッティ国際指揮者コンクール(イタリア/トレント)の審査員として毎回招待されている。2000年4月から3年間、NHKの「FMシンフォニー・コンサート」のパーソナリティを務めるなど、バラエティにとんだ活動を行なっている。

Profile



菅 英三子 第1ソプラノ(罪深き女) *Yuga Emiko*

京都市立芸術大学卒業後、ウィーン国立音楽大学に留学、首席でディプロムを取得して修了。小室彰子、木下武久、佐々木成子、中村浩子、R.ハンスマンの各氏に師事。フランシスコ・ビニャス国際声楽コンクール「コロラトゥーラ・ソプラノ賞」、アルフレード・クラウス国際声楽コンクール第二位、ウィーン新進オペラ歌手コンクール第一位、藤沢オペラコンクール第一位及び福永陽一郎賞、オーストリア共和国学術褒賞、出光音楽賞、青山音楽賞、新日鉄音楽賞、芸術祭新人賞、宮城県芸術選奨などを受賞。1991年の現プラハ国立歌劇場でのオペラデビュー以来、プラハ国立歌劇場、ブルノ国立歌劇場、ガルス夏季音楽祭オペラ、フロリダ・バームビーチ・オペラ、新国立劇場、藤沢市民オペラ、出雲市民オペラ、延岡市民オペラなどの公演や、ヘッセン放送交響楽団、ボストンシンフォニー、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー、新日本フィルハーモニー、讀賣日本交響楽団、東京交響楽団、仙台フィルハーモニー、群馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー、アンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー、京都交響楽団、大阪フィルハーモニー、大阪センチュリー、九州交響楽団などの演奏会に出演している。また各地において、リサイタルなどの演奏活動も活発に行っている。現在、京都市立芸術大学准教授。



山本 香代 第2ソプラノ(罪を悔ゆる女) *Yamamoto Kayo*

国立音楽大学卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻(ドイツ歌曲)首席卒業。二期会オペラスタジオ第39期修了。修了時に最優秀賞受賞。文化庁オペラ研修所第11期修了。文化庁芸術家在外研修員として、ローマへ留学。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞、第1回日本モーツァルト音楽大賞選考会大賞(第1位)、第67回日本音楽コンクール入選、第五回藤沢オペラコンクール奨励賞、第6回オルヴィエート国際オペラコンクール第3位他数々のコンクールで入選、入賞を果たす。これまで、「フィガロの結婚」スザンナ、「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルデリージ、「魔笛」侍女1、「ラ・ボエーム」ミミ、ムゼッタ、「地獄のオルフェ」(天国と地獄〜藤沢特別バージョン〜)ダイアナ、「ルイズ」イルマ等で出演。またモーツァルトやフォーレ、ドヴォルザークのレクイエム等宗教曲のソリストもつとめる。イタリアのオルヴィエート、マンチネリ劇場にて「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィラ(パッペ・デ・トマーゾ演出)で出演し好評を博す。国立音楽大学非常勤講師、東京オペラプロデュースメンバー、二期会会員。



半田 美和子 第3ソプラノ(栄光の聖母) *Handa Miwako*

東京都出身。桐朋学園大学卒業。同大学院研究科修了。二期会オペラスタジオ修了時に最優秀賞及び川崎静子賞受賞。第四回藤沢オペラコンクール第一位、及び福水賞受賞で一躍脚光を浴び、以来引く手数多の逸材。オペラでは二期会公演「フィガロの結婚」スザンナでデビュー。二期会創立50周年記念公演では「ファルスタッフ」のナンネッタに抜擢され、清冽な歌唱を披露し喝采を浴びた。また新国立劇場小劇場シリーズ「花言葉」で主役のドンナ・ロシータを見事に演じて好評を博し、以降も日韓文化交流オペラ「春香」の香丹や、「地獄のオルフェ」ではユリアで新境地を拓く。その他「こうもり」のアデーレ、「電話」のルーシーなどを好演しており、2004年には新国立劇場「ファルスタッフ」ナンネッタで絶賛を博した。コンサートでは、ガリー・ベルティーニ指揮東京都交響楽団「真夏の夜の夢」のソリストに抜擢され高い評価を得、氏とはその後も「千人の交響曲」で共演するなど信頼も厚い。その他ベトル・ブロンスキー指揮ヤナーチェクフィルハーモニー及びシガポールフィルハーモニーでモーツァルト「レクイエム」、東京都交響楽団で「第九」、フォーレ「レクイエム」などを演奏。最近も都響定期演奏会で、エリア・インバルのプリンシパル・コンダクター就任披露公演「千人の交響曲」に出演。NHK交響楽団定期や読売日本交響楽団定期に於けるベルクの難曲「ルル」組曲」で好演している。また、2001年には、新日鐵コンサートプロモーションアーティストに出演し、その模様はニッポン放送にて放送された。テレビ朝日「題名のない音楽会21」(同題CD「20世紀の名曲ベスト30」に収録)、NHK「FMリサイタル」等にも出演、NHK-FM「名曲リサイタル」では中田喜直「金子みすずの詩による童謡歌曲集ほしとたんぼ」を演奏し、聴視者の反響を呼んだ。昨年はNHKの正月特別番組「日本うた絵巻」にて日本の抒情歌を演奏し、多くの視聴者に感動を与えた他、NHK「BS日本のうた」ではオペラ界から選ばれたの出演者となるなど、注目を集める活躍を続けている。この他、一柳慧氏の新作初演など委嘱作品や日本初演作品も積極的に演奏する傍ら、「李香蘭と美しきアジアの歌」と題したりサイタルを開催して喝采を浴び、子供のための童謡コンサートや、落語とのコラボレーション、劇団新感線の音楽制作に参加するなど、多様な活躍で観客を魅了している。透明性の高い美声と確かな技術に裏付けされた歌唱により、2006年9月、東京二期会公演宮本亜門演出「フィガロの結婚」にスザンナ役で出演。続く2007年1月には「NHKニューイヤーパーコンサート」に初登場を果たした。2009年8月、ヨーロッパの各地で活動を続けている細川俊夫作曲「班女 hanjō」(三島由紀夫「近代能楽集」「班女」ドナルド・キーン英語訳を基にしたニュープロダクション)日本初演に花子役で出演。サントリーホール(ブルーローズ)3公演を成功に導き、ミラノ音楽祭ではトリノとミラノ公演に於いても多くの称賛を得た。桐朋学園音楽部非常勤講師。二期会会員。半田美和子オフィシャルサイト <http://miwako-handa.jp/content/report.html>



栗林 朋子 第1アルト(サマリアの女) *Karibayashi Tomoko*

東京芸術大学卒業。同大学院独唱科修了。第一回藤沢オペラコンクール奨励賞受賞。第63回日本音楽コンクール第1位入賞。1996年五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。この受賞によりベルリンに留学。2000年11月帰国記念リサイタルを開催。オペラには、藤沢市民オペラ「ウインザーの陽気な女房たち」、2000年新国立劇場小劇場オペラシリーズ、グルック「オルフェオとエウリディーチェ」にオルフェオ役で出演し好評を博す。2001年二期会50周年記念公演ヴェルディ「ファルスタッフ」、オフエンバック「ホフマン物語」に出演。2003年藤沢市民オペラオフエンバック「地獄のオルフェ」に字幕(世論)役で出演。コンサートには、ソロリサイタルをはじめ、パッハ「マタイ受難曲」「口短調ミサ」、ベートーヴェン「第九」「ミサ・ソレムニス」、ヴェルディ「レクイエム」、マーラー「復活」「千人の交響曲」、ヘンデル「メサイア」など多数のレパートリーを持つ。日本フィル定期、ヴェムリンスキー「フィレンツェの悲劇」(演奏会形式)、名古屋フィルハーモニー管弦楽団定期、ベルク、歌曲集「七つの初期の歌」に出演。二期会会員。桐朋学園芸術短期大学、東京芸術大学非常勤講師。



牧野 真由美 第2アルト(エジプトのマリア) *Makino Mayumi*

東京芸術大学卒業。同大学院修了。小中はるみ、加藤綾子、青木美稚子の各氏に師事。スイス・ロカルノ「ティチャー・ノムジカ」にてマダ・オリヴェロ、チャールズ・スペンサーの両氏に師事。第三回藤沢オペラコンクール奨励賞。第30回イタリア声楽コンクール金賞。ベートーヴェン「第九」マーラー「復活」ヘンデル「メサイア」ヴィヴァルディ「グロリアミサ」ヴェルディ「レクイエム」等のソリストとして多くのコンサートに出演。またオペラには「カルメン」タイロロール、「ヴェルテル」シャルロット、「蝶々夫人」スズキ、「ジャンニ・スキッキ」ゾイタ、「アドリアーナ・ルクヴール」ブイヨン公妃等で出演した他、藤沢市民オペラ「地獄のオルフェ」字幕(世論)、サイトウキネンフェスティバル松本「利口な女狐の物語」キツツキ(指揮:小澤征爾)、東京のオペラの森「オテロ」エミリア、東京芸術劇場シアターオペラ「カヴァレリア・アルスティカーナ」マンマ・ルチア、サントリーホール・オペラ・アカデミー公演「ファルスタッフ」クイックリー夫人(共演:レナード・ブルゾン)、サントリーホール・オペラ「フィガロの結婚」マルチェリーナ(指揮:ニコラ・リゾッティ)に出演、安定した美声と的確な演技で好評を博した。2010年2月には藤原歌劇団公演「カルメル会修道女の対話」の出演を控えている。フェリス女学院大学演奏学科非常勤講師。藤原歌劇団団員。



福井 敬 テノール(マリア崇拜の博士) *Fukuji Kei*

岩手県出身。国立音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。修了時に川崎静子賞受賞。文化庁オペラ研究所修了。90・94年文化庁派遣芸術家在外研修員等によりイタリアに留学。第20回イタリア声楽コンクールでミラノ大賞(第1位)、第20回シロー・オペラ賞新人賞、第4回五島記念文化賞オペラ新人賞、第44回芸術選奨文部大臣賞新人賞、第25回シロー・オペラ賞、第9回出光音楽賞、第33回エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞。92年二期会創立40周年記念「ラ・ボエム」ロドルフォ役の鮮烈デビュー以来、数々のオペラ作品に主演し第一線の活躍を続け、わが国を代表するトップ・テナーとなった。他者の追従を許さない輝かしい声、幅広い表現かつ情感溢れる演技で、聴衆を魅了している。これまで、新国立劇場では開場記念「ローエン格林」タイトルロール、「トスカ」カヴァラドッシ、「罪と罰」(初演)ロージャ等、びわ湖ホールでは「ドン・カルロ」(イタリア語5幕版日本初演)タイトルロール、「エルナーニ」「群盗」「十字軍のロンバルディア人」、Bunkamura「マダム・バタフライ」ピンカートン、最高の当たり役「トゥーランドット」カラフ等、大役を次々と演じ、02年ベルギー国立モネ劇場・二期会「ニュルンベルクのマイスタージンガー」騎士ヴァルター、03年二期会「カルメン」ドン・ホセ、日生・二期会「ルル」(3幕版日本初演)アルヴァ、愛知万博開催記念「白鳥」(初演)。04年二期会「エジプトのヘレナ」(日本初演)メネラス。05年びわ湖ホール「ステイプフェリオ」(日本初演)、06年同「海賊」(同)、二期会「ラ・ボエム」「蝶々夫人」。07年二期会「ダフネ」(日本初演)アポロ役では圧倒的な存在感を見せつけ、全国紙のほとんどの評にて最大の賛辞を得た。また2007年には東京二期会「仮面舞踏会」リカルドで絶賛を浴び、びわ湖ホール「こびと〜王女様の誕生日〜」、08年2月新国立劇場「黒船」に出演等、引く手あまたの活躍。08年9月には札幌交響楽団によるブリティッシュ「ビーター・グライムズ」に主演し絶賛を浴びた。また、09年3月舞台芸術共同制作公演「トゥーランドット」(びわ湖ホール&神奈川県民ホール)「トゥーランドット」カラフでも大絶賛され、6月、新国立劇場「修禪寺物語」源左金吾頼家出演し好評を博しさらなる躍進を続けている。2010年2月、満を持して取り組むことになる東京二期会「オテロ」(ロベルト・リッツィ・プリニョーリ指揮・都響/白井晃新演出)タイトルロールへの出演に周囲の期待も高まっている。「第九」やマーラー、宗教曲のソリストとしてもN響をはじめ国内主要オーケストラからも引く手数多の活躍を続け、ダイナミックで完成度の高い演奏は多くの国際的指揮者たちから賞賛を得ている。福井敬&ヴィンチェンツォ・スカレーラ デュオ・コンサートやリサイタル活動もいっそうの充実をみせている。CD*「君を愛す」(ディスクラシカ)、松本隆プロデュース「美しき水車小屋の娘」(avex io)。二期会会員。国立音楽大学准教授。

福井敬ファンサイト <http://www.fukuikei.net/>



久保 和範 バリトン(法悦の教父) *Kubo Kazunori*

東京都出身。東京芸術大学、及び同大学院修士課程独唱科修了。文化庁オペラ研究所修了。平成7年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてニューヨークに留学。第3回奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞受賞。第1回ヴァン・デル・ランテコンクール第1位優勝。高松短期大学学長賞受賞。兵庫県知事賞受賞。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位入賞。芸大オペラ「ドン・ジョヴァンニ」の騎士長でオペラデビュー以後、モーツァルトのオペラ「魔笛」の弁者、「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ、「ドン・ジョヴァンニ」のレポレロ、「フィガロの結婚」のフィガロ、ヒンデミットのオペラ「ロングクリスマスディナー」のブランドンで出演。1997年新国立劇場オペラ公演「建・TAKERU」に稲置役で出演し、1998年新国立劇場「天守物語」では武田播磨守役に出演。2000年には、3月新国立劇場「沈黙」、4月Bunkamura オペラ「トゥーランドット」、6月新国立劇場「リゴレット」と連続して出演。2001年4月にはBunkamura オペラ「トゥーランドット」に引き続いて出演した。2003年1月新国立劇場世界初演オペラ「光」イシダ役に出演。2004年には二期会公演/宮本亜門演出「ドン・ジョヴァンニ」にレポレロ役に出演した。2005年6月二期会公演「椿姫」にドゥフォーール男爵役に出演。また、9月には愛知万博開催記念特別公演 オペラ「カーリウリバー」(豊田市)に渡守役に出演、2006年11月には二期会公演/宮本亜門演出「フィガロの結婚」のタイトル・ロールと着実に実績を残している。その深く鋭い美声と天性の演技力で2007年11月、東京二期会「天国と地獄」神々の王ジュピター役に好評を博し2009年10月には「蝶々夫人」シャープレスを好演。コンサート歌手としても主要オーケストラと共演しており、2005年NHK交響楽団定期公演「天地創造」、2006年読売日本交響楽団/モーツァルト「レクイエム」などのバス独唱を務め、高い評価を得ている。ミュージカルの舞台においては蜷川幸雄演出「仮名手本忠臣蔵」歌手、日米ソ合同ミュージカル「十二ヶ月のニーナ」イェウリ、「セイリング」船長、「結婚物語」マイケル、「リトル・ナイトミュージック」リンドクエスト、「ぶんど」小助、など多数出演。リサイタル、コンサート活動として「久保和範コンサート」「醤油風味の音楽会」「THE・音楽寄席」の3シリーズを全国各地で開催。ジャンルを超えた選曲、軽妙なトークと奇想天外な企画で好評を得ている。1999年ファーストアルバムとして「久保和範日本愛唱歌集」をリリース。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHKテレビ「BSクラシック倶楽部」「N響アワー」NHK-FM「土曜リサイタル」「日曜クラシックスペシャル」「名曲リサイタル」、NHKラジオ第1放送「ラジオはっとたいむ」等放送にも度々出演。二期会会員。

久保田 真澄 バス(瞑想の教父) *Kubota Masumi*

国立音楽大学卒業。同大学院修了。第26回リクルート・スカラシップ生。1993年第62回日本音楽コンクール声楽部門第3位。1994年五島記念文化賞オペラ新人賞受賞、五島記念文化財団の奨学生として渡伊。1996年リカルド・ザンドナイ国際コンクールおよび第2回フェルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクールに入選。是安豊美、田島好一、佐藤征一郎、ヴィットーリオ・テッラノーヴァ、ルイス・バラジョーラ、ルーカ・ゴッラの諸氏に師事。1993年大学院修了後、「コシ・ファン・トゥッテ」のアルフォンソ、「フィガロの結婚」のフィガロ、「魔笛」のババゲーンなどに出演。1994年に渡伊後、ミラノで演奏会形式の「蝶々夫人」のボンゾ、「椿姫」のグランヴィル、「アイーダ」のエジプト国王、「仮面舞踏会」のサムエル、「ラ・ボエム」のコッリーネ、「フィガロの結婚」のバルトロに出演。1995年にはチェコのプラハで第4回国際音楽祭に招かれ、モーツァルト「レクイエム」のソリストとして出演し好評を博した。同年、国立音楽大学創立70周年記念公演「セビリアの理髪師」にバルトロに出演。その後もオーストリア各地でコンサートに出演し、スイスやミラノで「小荘厳ミサ」のソロ、ミラノにて「ルチア」のライモンド、「仮面舞踏会」サムエル、「ラ・ボエム」コッリーネ、国内では第4回津山国際音楽祭「フィガロの結婚」に出演。新国立劇場に1998開場記念公演「アイーダ」のエジプト国王でデビュー。藤原歌劇団には同年8月文化庁青少年劇場の「愛の妙薬」のドルカマラーを経て、10月「セビリアの理髪師」(新国立劇場共催)のバルトロで本公演デビュー。その後、藤原歌劇団「椿姫」のドゥフォーール、グランヴィル、「ルチア」のライモンド、「マクベス」のバンクォ、「イル・カンビエロ」のアンソレト、「カプラーティ家とモンテッキ家」のロレンツォ、「イタリアのトルコ人」のドン・ジェローニオで好評を博し、2004年3月「アルジェのイタリア女」のムスタファ、2005年2月「チェネレントラ」のマニフィーコ、8月「アドリアーナ・ルクヴール」のブイオン公爵、2006年1月には「ラ・トラヴィアータ」のグランヴィル、5月には「トスカ」のアンジェロティ、10月には「ランスへの旅」のドン・プロフォンドに出演し絶賛を博す。2007年1月には「ラ・ボエム」のコッリーネ、2008年3月には「どろぼうかきさき」の代官で、最近では2009年6月「愛の妙薬」ドルカマラーを演じ好評を博す。新国立劇場でも藤原歌劇団共催「エウゲニ・オネーギン」のザレスキー、「ドン・カルロ」の修道士、「カルメン」のスニガのほか、「仮面舞踏会」のサムエル、「リゴレット」のスバラフチーレ、小劇場オペラ「幸せな間違い」のトラボット、「トゥーランドット」のティムール、「ドン・ジョヴァンニ」のマゼット、「ウェルテル」の大法官、「ルチア」のライモンドと活躍を続け、2002年には藤原歌劇団共催公演「ラ・ボエム」のコッリーネ、「オテロ」のロドヴィーコに出演し好評を博した。次々と新しい役をこなしてレパートリーを広げ、また、NHK-FMなどの収録やリサイタル開催やコンサート出演など、今後の活躍がますます期待されている。2009年9月新国立劇場主催「オテロ」に出演。藤原歌劇団団員。



Profile



浅野 深雪 (合唱指揮) *Asano Mayuki*

武蔵野音楽大学声楽科卒業。声楽を川村英司氏、合唱指揮を故関屋晋氏に師事。神奈川・東京で8つの合唱団を指揮。また全国の小・中・高校や一般団体に出演して合唱活動を陰で支えている。昨年、藤沢市民交響楽団第100回定期演奏会Holst「惑星」で合唱指揮を担当。2年連続して大役を担う。日本合唱指揮者協会実行委員、かながわ合唱指揮者クラブ運営委員。佐賀女子短期大学付属佐賀女子高校音楽科特別講師。



上野 正博 (副指揮) *Ueno Masahiro*

'90年、東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。'93年、同大学院音楽研究科指揮専攻修了。'94年、東京国際音楽コンクール・指揮部門にて「入選」。'96年、国際ロータリー財団親善奨学生として、ベルリン芸術大学に留学。その後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究員として研鑽を重ねる。'98年、ギリシャ・アテネに於いて、世界的権威あるミトロプーロス国際指揮者コンクールに最高位(1位なし2位)入賞を果たし、併せて「ミトロプーロス・ゴールドメダル」を授与される。今までに、東京都響、読売日響、東京フィル、東京響、東京シティ・フィル、新日本フィル、神奈川フィル、群馬響、京都市響、名古屋フィル、広島響、札幌響、関西フィル、大阪シンフォニカー響等を指揮し、高い評価を得てきた。特に群馬とは10余年に渡り、年間契約を結んでいる。また、国内主要オペラ公演の音楽スタッフとしての信頼も大変厚く、読売日響公演では、ドイツの名匠G.アルブレヒトに指名されてのアシスタント抜擢となった。また自らも、数多くのオペラを指揮している。海外では、国立ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団定期公演、ウィーン室内管弦楽団のオーストリア・ツアーを指揮してヨーロッパ・デビュー。地元紙にも「的確な棒さばき」と高く評価された。'06年には、ラポラトリウム国際現代音楽祭(ワルシャワ)に招聘されて指揮。現在、愛知県立芸術大学オペラ研究非常勤講師。



富平 恭平 (副指揮) *Tomihira Kyouhei*

東京生まれ。東京芸術大学音楽部指揮科卒業。これまでに指揮を高岡健、田中良和、小田野宏之、ピアノを安芸彌子、迫昭嘉、秦はるひの各氏に師事。これまでに群馬交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団、錦織健リサイタルにてニューフィルハーモニー千葉を指揮している。また数多くのアマチュアオーケストラでも演奏会を行っている。ピアニストとしてリサイタルの伴奏や協奏曲の弾き振りをやっている。オペラでの活動が多く、東京二期会、新国立劇場、藤原歌劇団、錦織健プロデュース、日生劇場などでの公演で副指揮者、合唱指揮者、コレベティウツ、ピアニスト、プロンプターなどオペラに関わるあらゆる仕事をつとめている。今までに関わった主な作品は「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「後宮からの逃走」「魔笛」「皇帝テイトスの慈悲」「ルル(クーラウ)」「セヴィリアの理髪師」「愛の妙薬」「ルクレツィア・ボルジア」「カプレーティとモンテッキ」「バルジファル」「椿姫」「トロヴァトーレ」「仮面舞踏会」「運命の力」「ファルススタッフ」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「こうもり」「カルメン」「アドリアーナ・ルクヴルール」「エフゲニー・オネーギン」「ヘンゼルとグレーテル」「小さな煙突掃除屋さん」「イェスーファ」「マクソロス家の事」「ヴォツェック」「ルル(ベルク)」「ベレアスとメリザンド」「ダフネ」「バラの騎士」「ナクソス島のアリアドネ」「ムツェンスク郡のマクベス夫人」「夕鶴」「アラジンと魔法のランプ」「泣いた赤鬼」「不思議の国のアリス」「白鳥」「愛怨」など。古典派から現代物、イタリア・ドイツ・フランス・ロシア・チェコ・日本物など様々なオペラの制作に携わっている。2007年10月には急遽代役にてクーラウ作曲のオペラ「魔法の堅琴」の日本初演を指揮。現在東京二期会専属音楽スタッフとしてオペラの制作に携わり、また東京芸術大学大学院オペラ科非常勤講師としてオペラの指導も行っている。



藤原 規生 (児童合唱指導) *Fujihara Norio*

国立音楽大学声楽学科卒業。「カルメン」、「魔笛」、「フィガロの結婚」、「ジャンニ・スキッキ」、「リゴレット」等の多数のオペラ・コンサートに出演。2001年9月藤沢市民オペラ「ラ・ボエーム」では児童合唱指導を担当。2004年2月には藤沢市民会館主催「明日への架け橋 オケストラコンサートfor未来の大人たち」ではフォーレ「レクイエム」の合唱指揮を務めた。2005年11月藤沢市民オペラ「トゥーランドット」では児童合唱指導。2008年2月ジョンラター作曲「子供のためのミサ」、2008年12月ロイヤルチェンバーオーケストラ「第九」、2009年5月には皇太子殿下がヴィオラでご出演された俊友会管弦楽団「第九」等の合唱指揮を務め、いずれも好評を博す。2005年12月には「女声合唱とピアノのための たおやかな詩」松下耕氏に委嘱初演(2007年カイイ出版より)。また明治生命ミュージカル「麗しの三姉妹サブリナ」(麻倉未稀主演)、バルコ劇場「シルビア」(安田成美主演)、「フレンズ」(長江健次主演)等の芝居・新作ミュージカル歌唱指導なども手かけ高い評価を得ている。夏夕介芸能生活30周年ミュージカル「Blue Plate Special」には歌唱指導に加え俳優としても出演。現在、日本合唱指揮者協会理事、神奈川県合唱連盟理事、同連盟「地域と結ぶ合唱プロジェクト」講師、小野学園小学校講師、藤沢ジュニア・コーラス、混声合唱団町田フロイデ、果嶋男声合唱団、女声合唱団優、女声コーラスならはら、立川八小PTAコーラス「コール・コロレ」等の常任指揮者を務める傍ら、各地の合唱祭講師、審査員を務めている。



楨野 伸也 (オーケストラ指導) *Makino Shin'ya*

作陽音楽大学付属高校音楽科器楽科卒業。洗足学園大学音楽学部器楽科(チェロ)を経て、同大学付属指揮研究所演奏家コース指揮科に進む。チェロを、故徳永兼一郎、木越洋、松下修也、K.シュトルク諸氏に師事。室内楽、ソロ、オーケストラをはじめ、スタジオミュージシャンとして、オーケストラのゲスト首席奏者、東京ポップスオーケストラ、チェロアンサンブル「BASS=BAR」(CBSソニー、ポリドールなどからCD発売中)メンバーであり、録音や、TV出演など行ってきた。またTV-CFなどでも「乃木坂カフェグレコ」「JA共済」その他多数出演してきた。その後指揮者への転身をはかり、指揮を秋山和慶、河地良智各氏に師事。またウィーン、ブタペストではクルト・レーデル氏に師事。1999年Kurt REDEL国際指揮者コンクール入選。その折にハンガリー(ブタペスト)のエルスドホナーニ管弦楽団を指揮して好評を得る。その後ウィーン国立音楽大学助教授湯浅勇治氏のセミナーに参加し研鑽を積む。2001年3月にチャイコフスキー「白鳥の湖」演奏会形式でメジャーデビュー後チャイコフスキー3大バレエを演奏会形式(バレエ付き)で成功させる。また録音では、ブラームス交響曲第4番ホ短調op.98(COGLレーベル)や「さわりで癒される天才モーツァルトの名曲25選(楽書館/中経出版)」の付属CD(全国書店などで発売中)などある。現在、日本セントラルフィルハーモニー管弦楽団音楽監督、東京コールアカデミア指揮者、アマチュアオーケストラの定期公演から、プロオーケストラや合唱団のファミリーコンサートや音楽鑑賞教室の指揮者として活動中。

稽古ピアノ



黒澤 美雪



小野 達子



鞠谷 純子



大園 麻衣子



藤沢市民交響楽団



昭和34年(1959年)に、創立指揮者故福永陽一郎を中心として創立された。現在約100名の団員を数え、年3回の定期演奏会を中心とした活動をつづけている。オーケストラの定期演奏会の他、ガラ・コンサートや湘南台市民シアターにおける「第九演奏会」などの特別演奏会を行う。さらに藤沢市民オペラでは第1回からピットに入り、演奏の重責を担っている。1995年度第44回神奈川文化賞受賞。

創立指揮者
福永 陽一郎

コンサートマスター
白井 英治
アシスタント・コンサートマスター
熊谷 雅行
山口 洋

トレーナー
白井 英治(ヴァイオリン) 吉田 悟(ヴァイオラ)
三宅 進(チェロ) 笠原 勝二(コントラバス)
鎌田 広(クラリネット) 小田桐寛之(トロンボーン)
久一 忠之(パーカッション)

第1ヴァイオリン

石原 満宇
奥村 敦子
久保 演美
久保 田幸
熊谷 雅行
児玉 陽一
佐野 啓吾
高岩 雅彦
高久 典幸
長 嶋啓
渡 嶋純
土門 章江
西尾 文
宮澤 由希

第2ヴァイオリン

伊藤 万里子
内藤 千恵子
大岡 京子
親松 博子
須賀 京子
鷹野 康子
高橋 幸代
塚本 雅一
原 正教
前原 須子
三宮 須直
宮崎 直美
山口 洋子
吉田 佳代
若山 望

ヴァイオラ

河野 順一
小島 加奈
小藤 とみ子
斉藤 美緒
坂井 浩之
辻本 博司
土門 洋
畠山 洋子
的場 秀幸
宮澤 克幸
矢作 恵美子
山口 明美

チェロ

赤間 崇
上田 和男
織田 和也
小西 麻衣
田中 美昭
富樫 彰
富樫 明
橋本 章
前田 幸嗣
松尾 篤浩
結城 明子
結城 典夫

コントラバス

相川 秀夫
石井 明
岩田 克司
木幡 奈緒美
西尾 智明
早川 珠実
松永 弘城
元吉 寿夫

フルート&ピッコロ

井口 博史
近藤 美津江
竹原 英章
長谷川 純
前原 英司

オーボエ

大熊 圭子
川崎 一博
葛永 暁男
馬場 邦男
樋口 徹雄

クラリネット

内海 豊
小木 曾圭子
小木 曾孝
鈴木 俊雄
野口 絵美

ファゴット

恵藤 譲
富井 一夫
外岡 誠二
春山 竜也
真柳 智之

ハーブ

大木 理恵
箕島 映子

ピアノ

伊坪 淑子

オルガン

飯塚 美奈

ハルモニウム

後藤 香織

チェレスタ

児玉 友樹

マンドリン

加藤 貴恵子
加藤 粧知子
山本 小菊

ホルン

岩田 奈賀子
鹿島 航
熊澤 隆裕
法月 裕
原田 奨
福田 康弘
渡辺 幸市
渡辺 真澄

トランペット

太田 修二
杉田 浩一
立石 直子
吉田 欣一

トロンボーン

青柳 哲史
金成 大輔
千田 馨
山本 邦治

チューバ

煤孫 さえ子

ティンパニ&パーカッション

青山 拓也
尾畑 圭一
桑原 久
児玉 友樹
鈴木 雅美

バンダ

石川 梨紗
川上 友貴
菅原 暢朗
花岡 亜美
藤沢 伸浩

トロンボーン

木下 夏子
佐藤 直哉
野村 京

ステージマネージャー

片岡 哲

† 替助

合唱

I

ソプラノ	井出弘子 (ク)	堀裕美子 (藍)	玉川雪枝 (波)	テノール	石井正明 (波)	バス	浅野律夫 (波)
岩本高美子 (藍)	大塚安子 (波)	中洲美和子 (藍)	井上明彦 (か)	小松保 (藤)	小松謙一 (藤)	小松謙一 (藤)	小松謙一 (藤)
宇都野々子 (波)	立松好江子 (波)	荻澤純子 (さ)	大久保晃彦 (市)	大野博則 (市)	小齋博一 (藤)	小齋博一 (藤)	小齋博一 (藤)
大澤美々子 (A)	田中文玲子 (市)	春井純子 (藍)	慶野博元 (藤)	廣吉正男 (藤)	柴谷浩二 (藤)	柴谷浩二 (藤)	柴谷浩二 (藤)
勝亦緑子 (藍)	田中千香子 (市)	福重三恵子 (市)	松本明男 (藤)	松本三上 (藤)	新保博一 (市)	新保博一 (市)	新保博一 (市)
木内洋子 (風)	永井千香子 (市)	松浦美智子 (ア)	美濃輪和朗 (市)	美濃輪和朗 (市)	杉山真昭 (湘)	杉山真昭 (湘)	杉山真昭 (湘)
木村敏子 (藍)	成田泰信子 (ク)	森中裕子 (ス)	柳澤康夫 (波)	柳澤信太 (市)	高橋博一 (市)	高橋博一 (市)	高橋博一 (市)
楠啓恵子 (混)	古家奈津子 (市)	伊藤麻由美 (市)	山本信 (市)	今村西健 (藤)	林正弘 (藤)	林正弘 (藤)	林正弘 (藤)
小竹美知子 (ア)	森一子 (藍)	今吉美江子 (風)	大佐藤客司 (市)	大佐藤客司 (市)	尾川正明 (波)	尾川正明 (波)	尾川正明 (波)
斉藤比子 (フ)	アルト	椎木千桂 (ク)	中村正勝 (市)	中村正勝 (市)	近藤明昭 (波)	近藤明昭 (波)	近藤明昭 (波)
高橋由直美子 (市)	漆原聡美 (市)	滝井明美 (藍)	細谷拓巳 (波)	細谷拓巳 (波)	鈴木健治 (藤)	鈴木健治 (藤)	鈴木健治 (藤)
前真重子 (波)	大澤道子 (ア)	田辺明たづ (市)	吉田元昌 (湘)	吉田元昌 (湘)	中平坂野 (市)	中平坂野 (市)	中平坂野 (市)
宮崎良子 (ア)	小澤由美子 (ア)	中野恭宏 (藍)	岸本武節 (藤)	岸本武節 (藤)	古安 (市)	古安 (市)	古安 (市)
八木真理子 (藍)	加地治子 (藍)	西原村田 (波)	小宮島節 (波)	小宮島節 (波)			
山腰牧子 (波)	加藤智代子 (A)	原松本明美 (波)					
山下敦子 (ス)	金子滋子 (フ)	溝口玉泉 (市)					
渡部則子 (風)	神谷寿美子 (市)	持田美奈子 (藍)					
青木みよ子 (藍)	見玉律おみ (市)						
荻阿部純裕子 (風)	坂本藤順子 (市)						
荒井磯洋子 (風)	佐藤桂子 (藍)						

II

ソプラノ	東久恵 (波)	小阪裕子 (ロ)	八重樫範子 (市)	テノール	逢見泰一 (藤)	バス	伊豆原孝 (藤)
飯島里美子 (市)	坂本早苗 (藍)	山岡真子 (グ)	山岡真子 (グ)	伊藤昭治 (藤)	伊藤昭治 (藤)	伊藤昭治 (藤)	伊藤昭治 (藤)
伊藤洋子 (グ)	品田雅子 (藍)	山田真理子 (市)	山田真理子 (市)	門井博喜 (市)	門井博喜 (市)	門井博喜 (市)	門井博喜 (市)
鶴崎章子 (グ)	須田榮子 (藍)	葛島洋子 (藍)	葛島洋子 (藍)	近藤征勇 (藤)	近藤征勇 (藤)	近藤征勇 (藤)	近藤征勇 (藤)
岡崎りつ子 (グ)	西田紀代美 (洋)	小島マチ子 (グ)	小島マチ子 (グ)	鈴木康介 (市)	鈴木康介 (市)	鈴木康介 (市)	鈴木康介 (市)
尾形香織 (藍)	西田純子 (市)	後藤敦子 (市)	後藤敦子 (市)	田中哲 (市)	田中哲 (市)	田中哲 (市)	田中哲 (市)
折戸敬子 (洋)	橋本由紀 (モ)	佐藤千鶴子 (波)	佐藤千鶴子 (波)	長南学 (市)	長南学 (市)	長南学 (市)	長南学 (市)
神田明子 (藍)	橋本邦子 (藍)	鈴木登茂子 (グ)	鈴木登茂子 (グ)	富田實 (コ)	富田實 (コ)	富田實 (コ)	富田實 (コ)
木村明子 (藍)	峰陽子 (グ)	田海文子 (藍)	田海文子 (藍)	西山木代 (波)	西山木代 (波)	西山木代 (波)	西山木代 (波)
坂入美智子 (波)	矢野絵美子 (市)	寺本優子 (グ)	寺本優子 (グ)	石野文雄 (藤)	石野文雄 (藤)	石野文雄 (藤)	石野文雄 (藤)
櫻井三奈子 (市)	吉田美枝子 (グ)	深谷ナ子 (藍)	深谷ナ子 (藍)	桑原智宏 (玲)	桑原智宏 (玲)	桑原智宏 (玲)	桑原智宏 (玲)
品川佳子 (藍)	アルト	星崎行枝 (波)	星崎行枝 (波)	齊藤章三 (波)	齊藤章三 (波)	齊藤章三 (波)	齊藤章三 (波)
嶋津優子 (藍)	飯田美知子 (藍)	松浦ゆり直子 (市)	松浦ゆり直子 (市)	関川一彦 (藤)	関川一彦 (藤)	関川一彦 (藤)	関川一彦 (藤)
白井めぐみ (市)	五十嵐静子 (グ)	丸山圭子 (コ)	丸山圭子 (コ)	船越正憲 (波)	船越正憲 (波)	船越正憲 (波)	船越正憲 (波)
高橋春菜子 (玲)	大西真知子 (グ)	御供喜美恵子 (グ)	御供喜美恵子 (グ)	松本久志 (波)	松本久志 (波)	松本久志 (波)	松本久志 (波)
田村富美子 (波)	長田保子 (グ)	藪内真み子 (藍)	藪内真み子 (藍)	村田浩三 (市)	村田浩三 (市)	村田浩三 (市)	村田浩三 (市)
美濃輪裕子 (市)	黒川麻子 (市)	山本 (藍)	山本 (藍)	山口博真 (市)	山口博真 (市)	山口博真 (市)	山口博真 (市)
安達孝子 (波)	後藤恵美子 (グ)			駒村真司 (市)	駒村真司 (市)	駒村真司 (市)	駒村真司 (市)
海老根信世 (市)	清水玲子 (藍)			佐渡 (市)	佐渡 (市)	佐渡 (市)	佐渡 (市)
小野恵子 (藍)	中島淑子 (波)						
蒲山恵子 (藍)	平山和子 (市)						
菊田順子 (波)							

ジュニア

足達秀太 (鶺)	島田夏帆 (鶺)	上田麻永 (第)	栗田ほたる (鶺)	霧生琴海 (第)
岩熊俊平 (一)	島田航希 (鶺)	大関千春 (滝)	清水千遥 (滝)	小林由子 (滝)
岩崎優花 (第)	高橋真波 (一)	梓田桃子 (滝)	細川美咲 (第)	小林美優 (第)
大澤和華 (一)	高橋和音 (一)	小西夏重 (第)	松島この (滝)	佐藤花里 (ジ)
柿坂華 (鶺)	高田万葉 (鶺)	高橋那奈 (ジ)	宮崎早織 (ジ)	高橋いづみ (滝)
金澤亜美 (滝)	滝井哲司 (一)	滝井笑美 (一)	山口莉歩 (鶺)	武山未佳 (ジ)
川原絵里 (第)	田村律 (鶺)	野口真衣 (ジ)	綿貫真鈴 (一)	田中優花 (鶺)
後藤しおり (第)	中野渡和奏 (滝)	松井美咲 (第)	伊豆原美咲 (鶺)	室井みなみ (滝)
権田智子 (滝)	宮崎菜摘 (ジ)	岩本理那 (一)	小笠原滯 (ジ)	湯山早苗 (第)
佐野智守 (鶺)	上田麻生 (第)	上田夏澄 (滝)	菊地美涼 (ジ)	

団体一覧

ア：アマポーラ	A：アンサンブル藤沢	か：かなぶす	玲：合唱団「玲」	波：鶴沼混声「波」
洋：鶴洋コーラス	ク：コール・クレール	さ：コール さざんか	コ：コロ・アドヴァンテージ	グ：湘南コール・グループ
ス：湘南コーロ・ステラ	混：湘南混声合唱団	市：湘南市民コール	湘：湘南男声合唱団	フ：湘南フリーデンスコーア
モ：湘南モーター室内合唱団	藍：女声合唱団 藍の会	ロ：女声合唱団 コール・ロビン	風：女声合唱団 湘南の風	藤：藤沢男声合唱団
鶺：鶴沼ジュニア・コール	ジ：藍沼ジュニア・コーラス	滝：藍沼市立流の沼中学校合唱部	第：藍沼市立第一中学校合唱部	一：一般参加